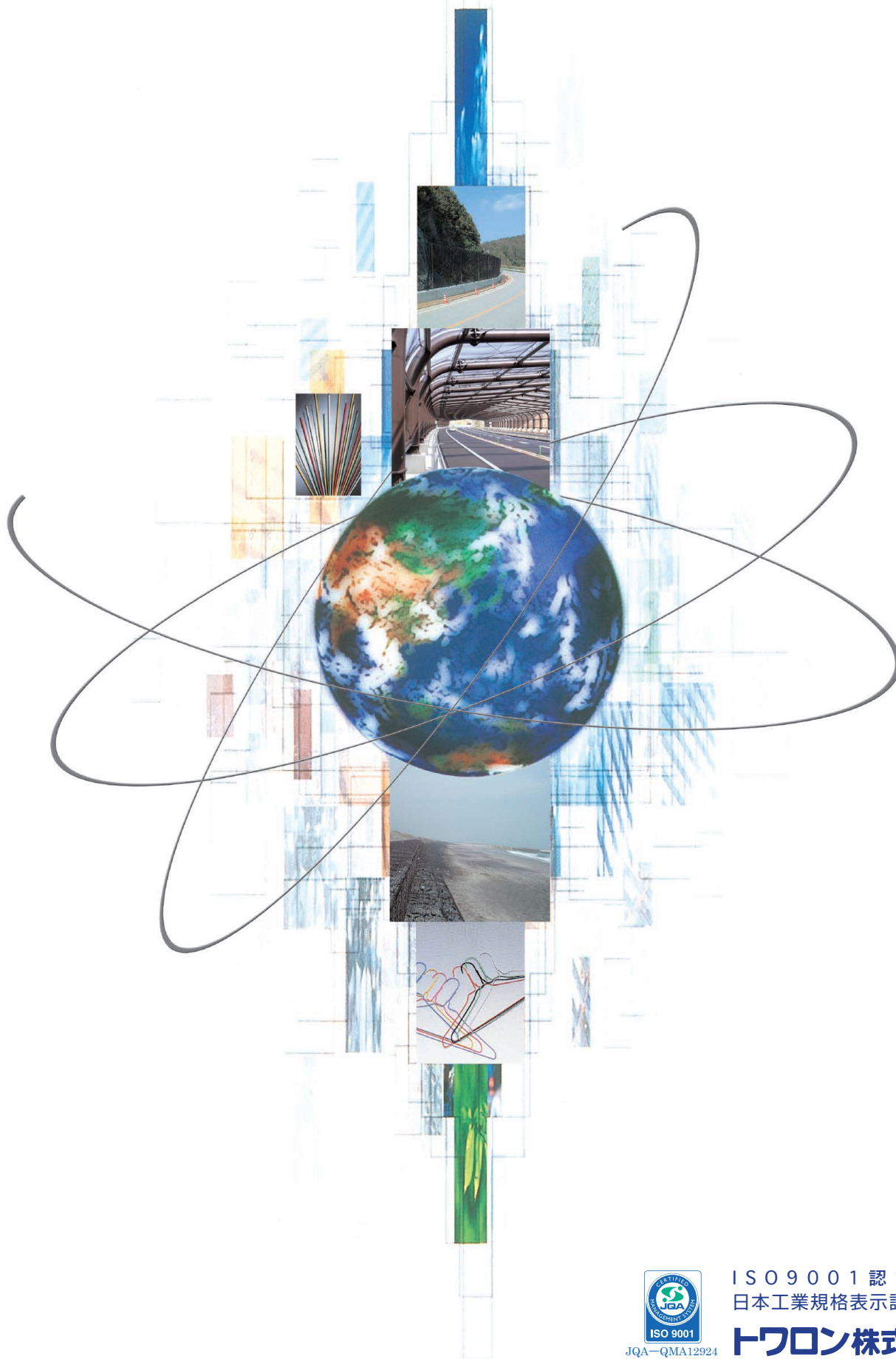


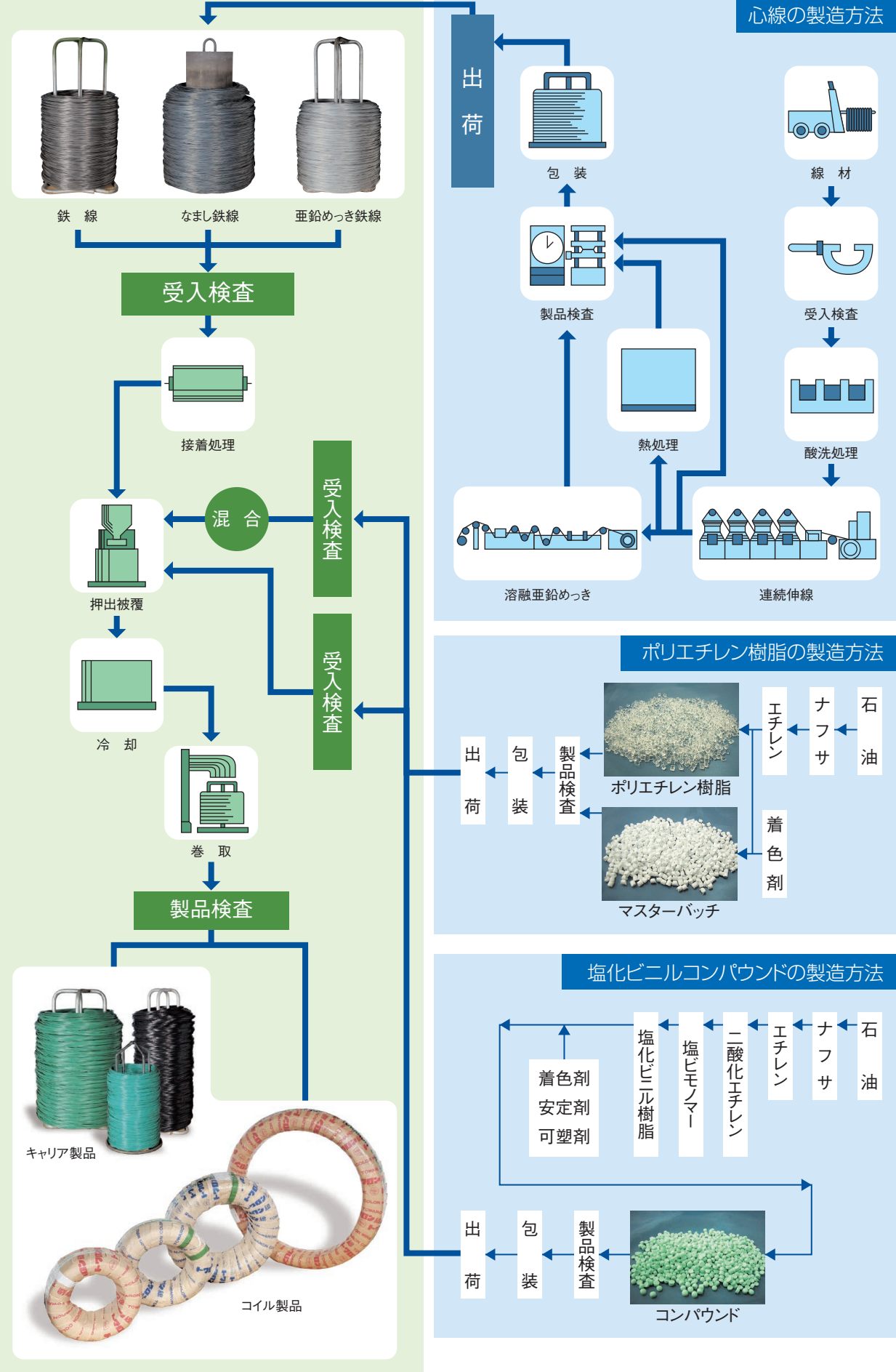
環境・生活のあらゆる場面で活躍するトフロンワイヤ
総合製品ガイド



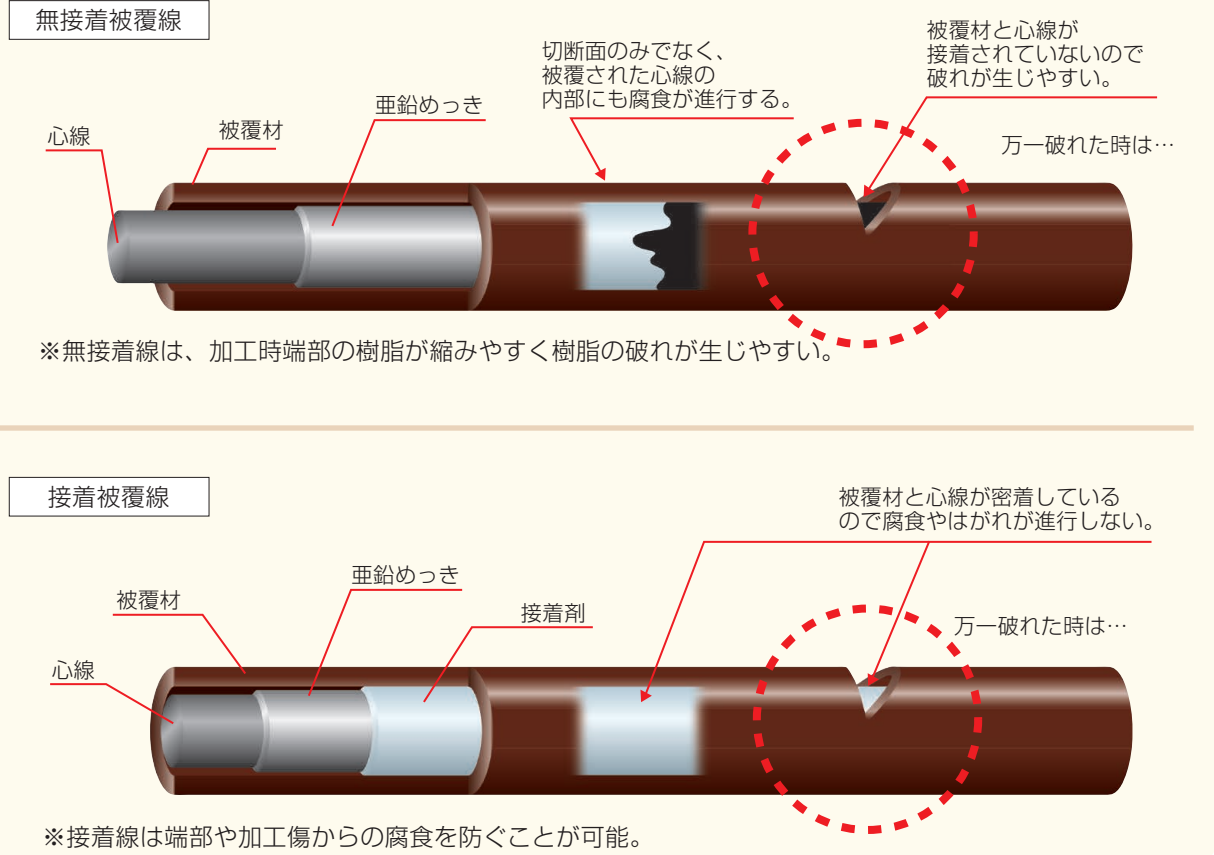
ISO 9001 認証取得
日本工業規格表示認証工場

トフロン株式会社

トフロンカラーワイヤ製造方法



被覆鉄線の構造



接着被覆線と無接着被覆線比較データ

塩水噴霧試験した際に接着被覆線と無接着被覆線の腐食を比較しました。
■ 試験資料：TNIR-AGH-4.0-3.2-000 (無接着被覆線)
TBIR-AGH-4.0-3.2-000 (接着被覆線)

		0時間 (2003.12.12開始)			10,000時間 (2005.5.16終了)
		左端	中央部	右端	全体写真
無接着被覆線	(イ)キズ無し				(イ)キズ無し無接着被覆線
	(ロ)キズ有り				(ロ)キズ有り無接着被覆線
接着被覆線	(ハ)キズ無し				(ハ)キズ無し接着被覆線
	(ニ)キズ有り				(ニ)キズ有り接着被覆線

検証結果
無接着被覆線：樹脂と心材の隙間から白錆が全体に進行し、赤錆も発生している。
接着被覆線：端部やキズを入れた箇所は、白錆が発生しているが、接着しているためその後の進行が遅くなった。

生活場面で、市街で、 山海で、あらゆる場面で…、 無限の可能性を秘めたトフロンワイヤ

■ 納期対応が早い

全社的に、マーケットイン(消費者指向)の精神を持ち、常に報連相(報告・連絡・相談)の体制を崩さず、スムーズな納期対応をしています。

■ 品質が安定している

JISマーク表示品、JIS外製品とも区別なく、受入検査から製品検査に至るまで徹底した管理体制で品質管理を行っている為、品質にムラが無く安定しています。

■ 教育に力を入れています

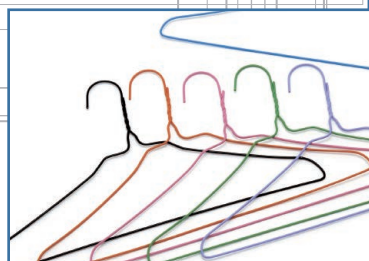
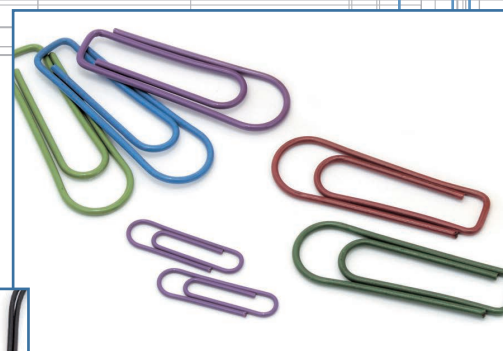
教育は従業員へのエネルギーの供給と考え、自主的な勉強の場としてQCサークル活動を行い社内教育・社外教育に力を入れています。

■ コストの低減に力を入れています

社内標準化を進め、材料・部品・製品等の単純化及び製品の標準化によって、ロス削減・能率の向上など社内全般にわたる業務や管理のコストの低減に力を入れています。

■ ISO9001認証取得、日本工業規格表示認証工場です

屋内・生活の周辺で



製品のご紹介は次のページです ▶



山間部で



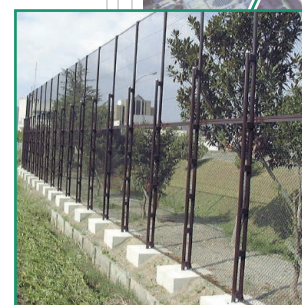
球場・グラウンドで



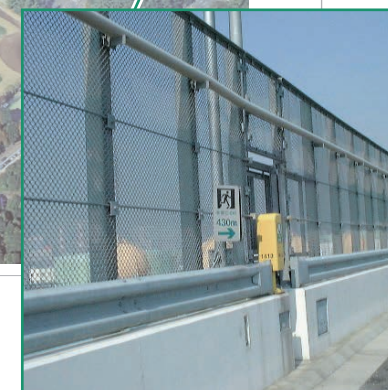
スタジアムで



高速道路で



市街地郊外で



空港で



海岸で

IRコートワイヤ

市街・山間、海、川

- 1 優れた防食性・耐候性・加工性
- 2 優れた耐衝撃性・耐摩耗性
- 3 景観法に対応する自然な色調
- 4 地球環境への配慮
- 5 豊富な採用実績



特徴

- ゴルフボールに使用される素材を採用しており、抜群の耐衝撃性を示す。非常に強靱で適度の弾力性と柔軟性を持ち、耐摩耗性があり、耐候性にも優れている。
- 使用素材はスキー靴にも使用され、耐寒性も抜群。冷却すると強くなる特徴があり、降雪地、寒冷地での使用に最適。
- 透明性に優れ、無色透明の被覆が可能で心線のサビの有無を目視で確認できる。
- 良好な景観の保全・形成を図る景観法に対応する、被覆材の豊富な色のバリエーション。
- ベース樹脂は、米国FDAおよび食品衛生法に基づく厚生省告示第20号に合格した安全な素材であり、食品の包装資材、容器などにも使用されている。
- 廃棄物は、焼却又は埋立てにより処分できる。
- (EU)ROHS指令AnnexIIの対象化学物質および(EU)REACH規則の対象化学物質を意図的に含有しておりません。

※火気を近づけないようにしてください。

用途

ひし形金網

(多自然形川づくり用金網、立入防止柵、高尺ネット、防球ネット、落石防止網、落石防護柵、消波ブロック用敷網、築堤マット)

ワイヤロープ

(落石防止網、落石防護柵)

寒冷地用

(果樹園棚用、各種引張線)



HDPEワイヤ (JIS G 3543適合商品)

市街・山間、海、川

- 1 優れた防食性・耐候性・加工性
- 2 景観法に対応する自然な色調
- 3 地球環境への配慮

特徴

- 良好な景観の保全・形成を図る景観法に対応する、被覆材の豊富な色のバリエーション。
- ベース樹脂は、食品衛生法に基づく、厚生省告示第370号に適合。
- 廃棄物は、焼却又は埋立てにより処分できる。
- (EU)ROHS指令AnnexIIの対象化学物質および(EU)REACH規則の対象化学物質を意図的に含有しておりません。

※火気を近づけないようにしてください。

用途

土木、建築用

(ネットフェンス・亀甲金網・通信用ケーブル引込線) 結束用(色による種類分け)、文具用、日用品用、ガーデニング用、果樹園用



飽和ポリエステル被覆鉄線

市街・山間、海、川

特徴

- 心線に亜鉛めっき鉄線を使用しているが、完全接着加工を施しているため使用中に重金属の亜鉛やアルミニウム等が溶出しない。
- 耐寒性、可撓性(折曲げ性)、表面硬度、耐摩擦性に優れ、その強度と耐久性に加えて自然にやさしく負担を掛けない。
- 廃棄物は、焼却又は埋立てにより処分できる。

※火気を近づけないようにしてください。



用途

ひし形金網用

(高尺ネット、防球ネット、落石防止網)

塩化ビニル被覆鉄線 (JIS G 3543適合商品)

市街・山間、海、川

屋内・生活の周辺

特徴

- 可塑剤、添加剤、安定剤を加える事で、硬い樹脂から手触りの良い柔らかい樹脂まで幅広い被覆材を作ることが出来る。
- 耐酸性、耐アルカリ性、耐水性がよく耐候性に優れている。
- 電気絶縁性がよく、電気特性に優れている。
- 軟硬自在の被覆材と、鉄、非鉄、軟硬の心線を組み合わせることによって、家庭用から工業用、建築用、土木用に広範囲の使用が可能。



用途

土木、建築用

(ネットフェンス、亀甲金網、通信用ケーブル引込線)

結束用(色による種類分け)、文具用、日用品用、ガーデニング用、果樹園用



EPワイヤ

屋内・生活の周辺

特徴

- JIS商品
JISG3543-SWMV-GH2適合商品。
- 景観に調和する
環境に調和したカラーが選べ、従来の亜鉛めっき鉄線のように金属の冷たさがなく、カラーによる視認性が危険防止につながる。
- 軽量かつ高強度
高い引張強さの心線に接着剤を塗布し、表面硬度と、耐摩耗性の高い高強度塩化ビニルを強固に接着しているので高度な機械加工にも耐える。又、高い引張強さの心線を使用するため、従来品より心線を細く出来るので、軽量化できる。

用途

ひし形金網用

(高尺ネット、防球ネット、落石防止網)

クリンプ金網用

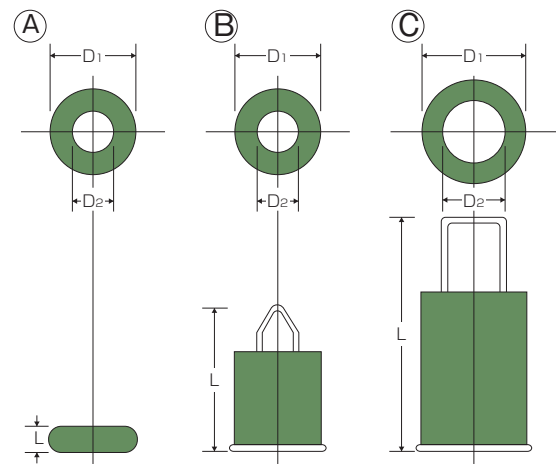
(蛇除網、エクステリア)



トフロンカラーワイヤの荷姿寸法

巻取径(mm)	定貫(kg)	荷姿タイプ	寸法 (mm)		
			L	D ₁	D ₂
270	20	A	130	350	160
300	25	A	130	400	200
	50	B	700	350	250
400	50	A	160	500	240
	200	C	1200	550	300
600	50	A	110	700	500
	80	A	150	750	520
	100	A	160	750	520
	500	C	1200	850	450

荷姿タイプ



◇トフロンカラーワイヤ主要製品荷姿定貫表です。
使用数量、使用設備に合わせて、左記の中からお選びください。
また別途にて、お客様のご仕様ご要望にお応えします。ご相談ください。

m/t・g/m 一覧表

番手	線径mm (外径－心径)	ポリエチレン被覆線 (IR・HDPE)		塩化ビニル被覆線 (PVC)	
		m/t	g/m	m/t	g/m
#4	6.0－5.0	6,160	162.35	6,019	166.15
#6	5.0－4.0	9,490	105.38	9,218	108.49
#8	4.0－3.2	14,828	67.44	14,403	69.43
	4.0－2.9	17,378	57.54	16,621	60.17
#10	3.2－2.6	22,584	44.28	21,987	45.48
	3.2－2.3	27,527	36.33	26,289	38.04
#12	2.6－2.0	37,413	26.73	36,124	27.68
	2.6－1.8	44,212	22.62	41,957	23.83
#13	2.3－1.8	46,489	21.51	45,007	22.22
#14	2.0－1.6	59,310	16.86	57,611	17.36
#16	1.6－1.2	102,905	9.72	98,966	10.10
#18	1.2－0.9	182,943	5.47	175,939	5.68
#20	0.9－0.7	306,687	3.26	296,632	3.37

※ 番手は外径の表示となっています。
※ m/t・g/m 一覧表は概算値です。

線材製造元 錆びない強さ **TOWARON**
トフロン株式会社

本 社 大阪府堺市西区築港新町2丁6番13
TEL.(072)245-6500 FAX.(072)245-7324
東 京 支 店 東京都中央区日本橋人形町2丁目30番5号 エイム人形町5F
TEL.(03)5614-8688 FAX.(03)5614-8689
札幌営業所 札幌市東区北22条東3丁目1-35 ハイテクビル・さっぽろ301号
TEL/FAX.(011)214-0760

ひょっとしてこんなこともできるかな…?
なんでもご相談下さい。
ご相談 ☒メール & ☎コール
office@towaron.co.jp / 072-245-6500